

科目名		授業形態	担当教員名	
失語症演習Ⅱ（評価、訓練）		講義・実習	太田 信子・今井 絵美子・高橋 朋佳・ 中島 和子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
臨床報告書の形式、表現法を解説し、レポート添削と解説により録画・録音教材を通じた臨床報告書の記述練習、および言語聴覚療法の流れに沿った訓練目標および具体的訓練プログラムの立案練習、教材作成練習を行う。また、コミュニケーション援助技術についてグループ指導を行い、介護老人保健施設いきいきの郷において実践演習を行う。グループ演習の計画・報告を通して、文献調査と成果発表の練習も行う。				
授業の到達目標				
失語症症例に対する訓練目標・プログラム立案ができるようになる。立案に基づいた訓練教材を選択・作成することができるようになる。グループ演習では、専門的知識を対象者にわかりやすく伝達できるようになる。計画・実践・報告を通して、臨床業務の流れを体験する。				
授業計画				
回	内容			
1	ケースM.S. 提示 *レポート1			
2	いきいきの郷計画			
3	ケースM.S. 解説			
4	ケースN.I. 提示 *レポート2			
5	いきいきの郷グループ演習（各グループ）※2			
6	ケースN.I. 解説			
7	SLTAの取り方の実際（ドリル：全員）			
8	ケースN.N.（報告書、教材作成）提示 *レポート3			
9	いきいきの郷 フィードバック1			
10	SLTAの取り方の実際（実技テスト：個人）※1			
11	ケースN.N. 解説			
12	ケースN.N. 解説／ケースM.S.（教材作成）提示 *レポート4			
13	いきいきの郷フィードバック2			
14	ケースM.S. フィードバック			
15	ケースH.N. 検討 *レポート5			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート	70%	各レポートが基準に達しなかった場合は、その都度再提出		
小テスト				
平常点				
その他	30%	実技試験20% いきいきの郷10%		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
標準失語症検査マニュアル 改訂第2版	日本高次脳機能障害学会 編	新興医学出版社		
標準言語聴覚障害学 失語症学 第2版	藤田郁代、立石雅子 編	医学書院		
臨床力up！動画と音声で学ぶ 失語症の症状とアプローチ	森田秋子、春原則子	三輪書店		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
失語症訓練の考え方と実際 ―新人STへのヒント―	鈴木 勉 編著	三輪書店		
自由記載				
備考				
※1 1人各2回実施				
※2 準備及び臨地実習2回（5/8, 5/15, 5/22, 6/19, 6/26, 7/3の内2回）				